

美咲町下水道事業経営戦略ロードマップ

令和 8 年 2 月策定
美咲町下水道事業

1. これまでの主な経営健全化の取組

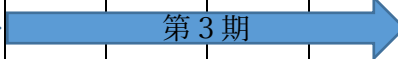
美咲町下水道事業では、これまで水洗化の促進や経費の縮減など、経営健全化に向けた取組に努めてまいりました。しかしながら、下水道使用料収入のみでは下水道経営が成り立たず、一般会計からの繰入金により収支の均衡を図っている状況です。

このため、人口減少に伴う下水道使用料収入の減少が予測される中、さらなる経営健全化への取組が必要となっています。

2. 経費回収率向上に向けたロードマップ

国土交通省「下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進について」（令和 2 年 7 月 21 日付け国水下企第 34 号）に基づき、経費回収率の向上に向けたロードマップを以下に示します。

表 1. 経費回収率向上に向けたロードマップ

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
経営戦略 計画期間											
経営戦略 見直し	◎					◎					
使用料改 定の必要 性検討											
計画的な 施設整備		ストックマネジメント計画 第2期					第3期				
事業統合 (農集)											

本町の下水道事業の令和 6 年度決算に基づく経費回収率（汚水処理に要する費用をどの程度下水道使用料で賄えているか）は 67.25%で、経営健全の目安である 100%を大きく下回っており、その差は広がり続けると予測されます。経費回収率向上に向けて、経営の安定化の観点から下水道使用料の適正化について慎重に検討する必要があります。また、これと並行し経費縮減のための方策について具体的な検討を行い、適宜経営戦略の見直しを行う必要もあると考えています。

表 2. 経費回収率の推移予測

(単位：千円)

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
経費回収率	60.8	59.3	59.2	59.1	59.1	59.0	58.9	58.8	58.7	58.7
使用料収入	90,000	90,036	89,991	89,955	89,910	89,874	89,829	89,793	89,748	89,712
污水处理費	147,929	151,813	151,954	152,095	152,236	152,378	152,520	152,662	152,804	152,947

3. 業務目標

ロードマップに従い、定期的に下水道使用料の改定を検討するなど、経営健全の目安である経費回収率 100%を目指します。

(1) 実施予定時期

令和 8 年度～令和 16 年度

(2) 経費回収率向上に向けた具体的な取組

ストックマネジメント計画に基づく適正な投資事業の実施や経営戦略の定期的な見直し及び適正使用料単価の検証による事業運営の適正化を行います。

4. 進捗管理と経営指標

経費回収率向上に向けたロードマップの推進のため、毎年度目標指標の達成状況を把握することで進捗管理を行います。また、農業集落排水の特定環境保全公共下水道への接続検討に取り組むとともに、少なくとも 5 年に 1 度、下水道使用料の改定について検討し、必要に応じて審議会を開催して改定の必要性を検証するなど下水道事業の持続可能性の確認を行います。

5. 経営改善に向けての課題

下水道経営の改善に向けては、経営指標の目標値を達成するために取組を進めているところですが、以下のような費用増大のリスクが潜在しています。

①物価上昇に伴う材料費や光熱水費、人件費などの高騰

②管路施設の老朽化による維持管理費や修繕、改築費用の増加

下水道使用料収入が減少し費用が増大すると、さらに一般会計からの繰入に頼るような状況になる可能性があります。また、管路施設の老朽化により道路陥没等が発生した場合の社会活動への影響は大きく、これらの事故をよく制するために計画的かつ効率的に維持管理を進めていくことが必要となっています。このような状況のもと、本町でも以下のような取組への検討を進めていくことが求められており、今後の社会的な要請に対応すべく、財務体質の強化を図っていく必要があります。

(1) スtockマネジメント計画による計画的な維持管理

(2) ウォーターPPP（官民連携）による維持管理業務の効率化